

みなさんこんにちは!!

新年が明けてもう1か月がたちました。皆さんと一緒にいった「成人式、新年の集い、還暦の祝い」も無事に終了しました。多くの地域の方々や企業の方々に参加いただき、皆さんも緊張したことをおもいますが、多くの方に喜んでいただきよかったですとおもいます。

ところで、新宿区立新宿福祉作業所は新宿区から「社会福祉法人 日本キリスト教奉仕団」という法人が運営を受託して支援を行っている施設です。受託には期間があつて実は今年が2回目の最後の年でした。昨年に次年度以降の審査があり、先日区より正式に“指定管理者指定通知書”というのをいただき、今年の4月からまた5年間新宿福祉作業所での支援をさせていただくことになりました。また今後も皆さんといろいろな活動ができるのを楽しみにしています。またこうして再度選んでいただけたのは、皆さんの日頃のご協力のおかげだとおもいます。この書面をお借りして改めてお礼を申し上げます。

思えば8年前に皆さんに最初にお会いし、いろいろお話をさせていただいたことを懐かしくおもいます。ただ8年という歲月の中で、お互いに8歳年をとり、また何人かの方々とお別れをすることもあり、色々な感慨があります。これからの5年も過ぎてしまえばあつという間かもしれません、これからの5年間でいっぱい楽しい思い出を作りたいとおもっていますので、みなさんよろしくお願ひいたします。

また、この4月から新宿福祉作業所では色々な計画をたてていますが、とくに大事なことは皆さんの人権や尊厳を大切にすることです。人権とか尊厳とか難しい言葉ですが、これは皆さんが暮らしていくうえでとても大切なことです。いま世界ではいろいろなことが起きています。世の中にはいろいろな考えの人がいることはわかりますが、それを人に押し付けたり、無理矢理に言うことを聞かせたりすると、必ず争いが起こります。では作業所の中ではどうでしょうか？皆さんの意見や希望は聞き入れられていますか。この作業所には70人以上の利用する方がいます。その誰もがそれぞれの意見を持っています。言葉で伝えたり表現するのが苦手な人もいます。あるいは自分の意見を言うのが得意な人もいます。先ほども言いましたが、私たちは人の意見や表現を聞くことが大切だと感じています。これは職員も障がいを持つ人も関係ありません。みんなでみんなの意見を聞くことが大切です。そして新宿福祉作業所をいい方向に導いていくことがみんなの喜びだろうとおもいます。もし職員が皆さんの気持ちを傷つけるようなことをしたら他の職員や私に言ってください。もし他の利用者さんから傷つけられるようなことを言われた時も職員や友達にお話をしてください。4月から事務所の外に“みんなのこえ箱”を置こうとおもいます。言いにくかったら何か書いて入れてくれてもオーケーです。皆さんの声が少しでも他の人に届くようにしていきたいとおもいます。では今後ともよろしくお願ひいたします。

所長 佐々木章吾

